

pronity36.5/27.1/105.2

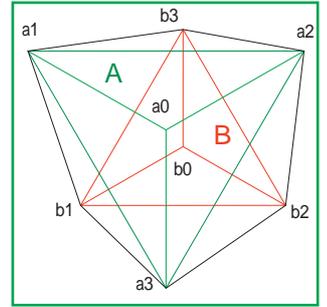
同方向の2つの正三角形

<3つの正三角形の焦点と重心>

同じ方向で平行に位置する正三角形Aと正三角形Bにおいて、A,Bの焦点となる正三角形Cの重心は正三角形A,Bの平行する3組の辺の関係から求められる。又、焦点となる正三角形Cの3頂点は、求めたc0点からの3本の120度線と正三角形Aの重心a0から正三角形Bの3頂点を通る3本の線分が交わる点となる。

<c0点は必ずa0.b0点と一直線上にある>

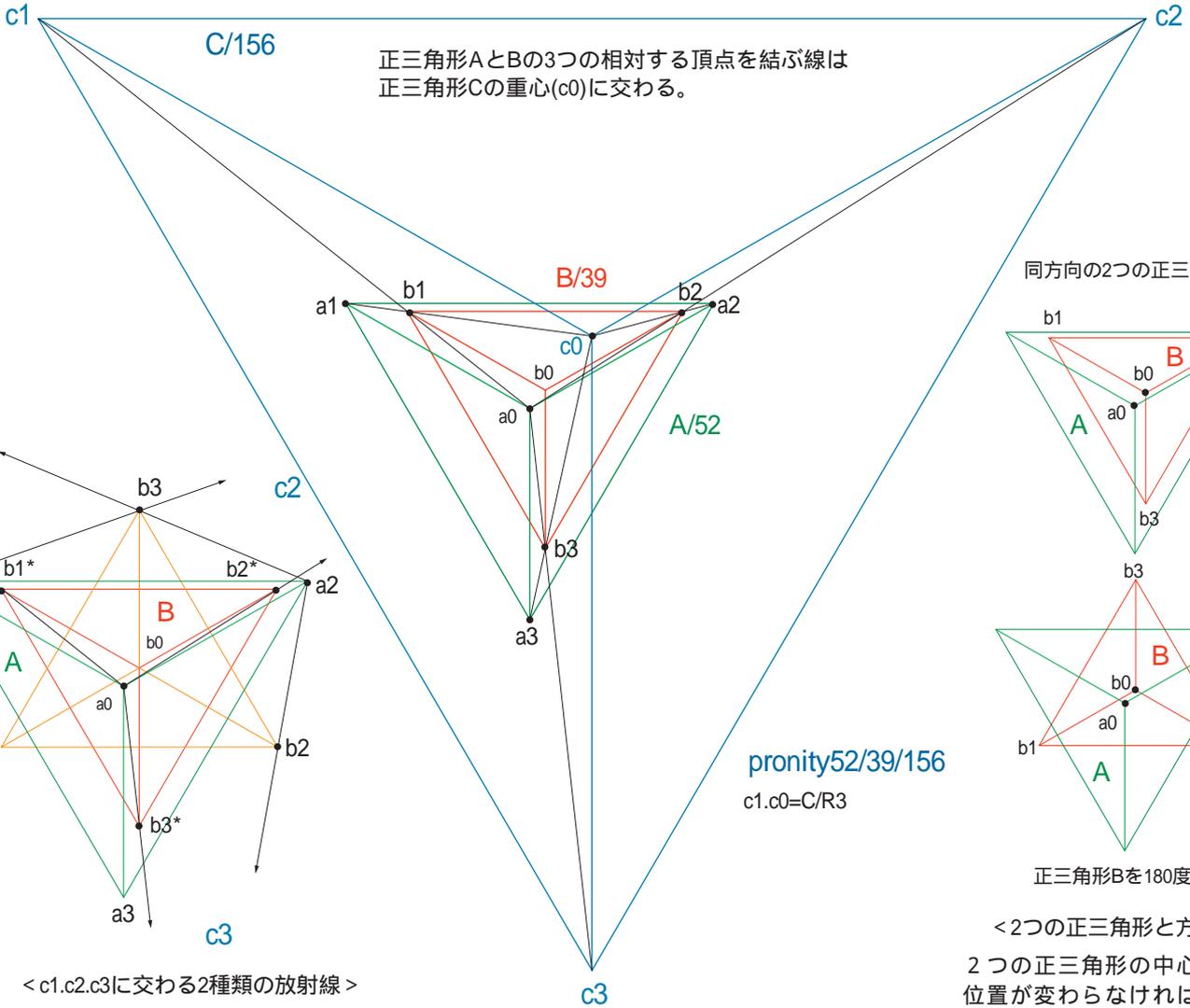
正三角形AとBの重心(a0.b0)の相対角度と正三角形Cの重心(c0)のA,Bに対する相対角度は同じであり、(a0.b0)の相対距離に、(c0)の距離は比例する。



pronity36.5/27.1/105.2

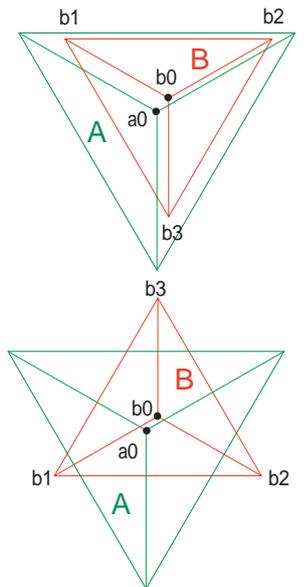
正三角形Bを180度回転

<正三角形Cの重心に交わる3本の線と3頂点を通る線>



正三角形AとBの3つの相対する頂点を結ぶ線は正三角形Cの重心(c0)に交わる。

同方向の2つの正三角形



正三角形Bを180度回転

<2つの正三角形と方向>

2つの正三角形の中心の相対位置が変わらなければ正三角形の向きが変わってもプロニティーの空間構造は同じであり、3つの正三角形のうち2つの正三角形の位置が決まれば、もう一つの正三角形の位置も決定される。

<c1.c2.c3に交わる2種類の放射線>

正三角形AとBを結ぶ2種類の線分は、正三角形Cの頂点で交わる。

2つの正三角形A > Bの関係において、Aの中心からBの3頂点を通る線分(X)は、正三角形Cの3頂点を通り、Aに対してBが逆方向に位置するとき(ヘキサグラムの位置)、A,B2つの正.逆の正三角形の頂点を交互に結ぶ線分(Y)の延長はCの3頂点を通る。よって線分(X)(Y)は正三角形Cの3頂点で交わる。